

あびらD51

高橋優奈・干場光紅・石田康起

ステーション

名前の由来

かつて「鉄道の町」として栄えた安平町の歴史を象徴する
「D51320」、「キハ183」などを
展示しているためこの名前になった

特徴

苫小牧から岩見沢までたった1つの道の駅
春から秋には動くSLを見ることができる
駅をモデルにした建物の形になっている
北海道で124番目の道の駅



道の駅の施設

特産品コーナー テイクアウトコーナー 農産物直売コーナー
ベーカリーコーナー レガシーギャラリー 無料休憩コーナー
鉄道資料館 24時間トイレ 電気自動車用EVステーション



行ってみて分かったこと

特産品、ベーカリーコーナーなど、全部で9カ所の施設がある。

パンは20種類以上あり、菜の花など安平町のものを使った焼きたてパンが並んでいる。

入り口から入って右側には、安平町のことをよく知られるパンフレットがおいてある。

道の駅には、鉄道資料館があり、「D51 320」そして、「キハ183系」などを展示している。春から秋にかけて動いているSLも見られる。

SL 倉庫

特産品コーナー



レガシーギャラリー

